

各位

今年はやはり天候不順です。
関東地方はからっとしない日が続きますし、
地域によっては豪雨も凄いですね。

今月のメルマガは久々に「不作」で6編です。
「不作」の原因は不明です。
やはり、天候不順のせいでしょうか？

以下の要約をご覧ください、
ご関心あるものをお読みください。

★—————No. 35 2011年8月—★

以下は作成順です。ブログでは逆の順序です。

■菅総理!即刻退陣を!
堪忍袋の緒が切れました。

<http://uenorio.blogspot.com/2011/07/blog-post.html>

■なでしこジャパンの勝利 女性は強い
こー番続きで緊張しないで、
「実力」を発揮できる女性を目の当たりにして、ただただ敬服です。

http://uenorio.blogspot.com/2011/07/blog-post_21.html

■原発の究極リスク
「ストレステスト」で原発の安全性を確認するとかいう動きがありますが
本当のリスクはテロです。
なぜ今までテロの対象にならなかったのでしょうか？

http://uenorio.blogspot.com/2011/07/blog-post_4917.html

■低放射線量の有益性について 再々論
このテーマは早く決着をつけて
無駄な「防衛」措置をやめてほしいものです。

http://uenorio.blogspot.com/2011/07/blog-post_31.html

■小さなクレーム
夏は暑くて少しのことでも腹が立ちやすいですね。

http://uenorio.blogspot.com/2011/07/blog-post_2686.html

■ソフトウェア保守の改善をしましょう!
今、私が必死で取り組んでいるテーマのご紹介です。

<http://uenorio.blogspot.com/2011/08/blog-post.html>

当メルマガは、
以下の方法でお送りいたしております。
このメール本文では、「上野則男のメルマガ」のテーマ名だけをお知らせします。
内容は、以下のいずれかの方法でご覧いただくことができます。

1. 月刊の「上野則男のメルマガ」
このURLで、バックナンバを含めてご覧いただけます。
<http://www.newspt.co.jp/data/maimaga/mgbk.html>

ブログにアクセスできない方は、こちらをご覧ください。

2. 随時更新される「上野則男のブログ」
総括の入り口のURLは以下のとおりです。
<http://uenorio.blogspot.com/>

個別のテーマのURLは、下のテーマ一覧のところに表示しています。

3. 携帯で「上野則男のブログ」をご覧くださいこともできます。
携帯用のQRコードが、上記の「上野則男のメルマガ」の冒頭部、
または「上野則男のブログ」の冒頭部右に示されています。
ご利用ください。

ご意見等につきましては、ブログへの書き込み（なるべくこれをお願いします）か、当メールへの返信でお願いいたします。

2011年8月一

■菅総理!即刻退陣を!

堪忍袋の緒が切れました。

<http://uenorio.blogspot.com/2011/07/blog-post.html>

先日、「菅総理の引き際」で、
菅総理も少しは知恵と良識があるかな、
と期待した記事を書きました。

しかし、この度の「原発のストレステスト実施」発言で
私も切れました。

海江田経産相の立場をまったくなくしてしまったのです。

私は、7月3日朝のフジテレビで海江田さんの言動を
1時間以上拝見していました。
その時、海江田さんの人柄・見識・良識に感心して
すっかり「ファン」になりました。

人当たりが良く、裏表がなく、謙虚で、
話に筋が通っていましたが。
菅総理の考えについてどう思うかと質問されると、
「それは菅総理に聞いてください」
と丁寧にかわしていました。

海江田さんは、佐賀県に出向いて
佐賀県（古川知事）が
玄海原発の再開を認める意向を示したことに對して
国が責任を持つ、と謝意を示しました。

それに対して、幾日も経たないうちに
政府の方針を勝手に変えたのです。

海江田さんの立場がありません。
この海江田さんに、
国会の場での追及に對して
思わず涙ぐんでしまうような辛い思いをさせたのです。

菅総理は組織の運営原則のイロハも知りません。
自分が責任を持って何かを完遂した
経験はないのではないのでしょうか。

関係組織への連絡もなく思いつきでことを進めたり、
人柄・見識を見ないで大臣に任命するのも
いただけませんが、
部下の顔を丸つぶしにするような行動は
断じて許されません。

一刻も早く辞任していただかないと、
日本の国が迷走するだけでなく、
日本の恥を
いつまでも外国にさらし続けることになります。

自ら辞めないのなら、
力づくで引きずり下ろすしかないでしょう。

■なでしこジャパンの勝利 女性は強い

ここの一番続きで緊張しないで、

「実力」を発揮できる女性を目の当たりにして、ただただ敬服です。

http://uenorio.blogspot.com/2011/07/blog-post_21.html

日本中が沸きかえったこの世界一、
当ブログでも触れないわけにはいきません。

たまたま、私は年に1回の家族旅行——
妻、息子夫婦と孫2人、娘夫婦と孫1人——で
箱根の小湧園ユートピアに行っておりました。

正直のところ、決勝戦のことは頭になく、
朝ぶろから帰ってくると、家族が大騒ぎをしていました。
試合はすでに延長戦終了間際でした。

PK戦を全部見ました。
特に感心したのは、最後のシュートを決めた
弱冠20歳の熊谷紗希さんです。

キック直前の顔が大写しになりました。
少し天を仰いでるような風にも見えました。
「緊張しているのだろうか」と、
こちらがドキドキして見守りました。

ところが、左上のコーナギリギリに
シュートを決めてしまいました。

普通の男性なら練習では打てても
あんな大一番ではとても実力を発揮できないだろう、
と思います。

日本に帰ってからのインタビューでも
「狙ってました」と淡々としたものでした。

女性は開き直ると強いのだなと
つくづく思いました。
生理的に精神構造が違うのでしょうか。
「母性は強し」なのでしょう。

キーパ海堀さんの横っ跳び右足の防御も
素晴らしいものでした。
こちらは日ごろの練習の賜物で、
体中が反射的に動くようになっていたのでしょう。
「(横に)飛びすぎた、しまったと思った瞬間に
足が動いた」と言うのですから。

とにかく、日本に強い部分があるということは
たいへん嬉しいことです。

早く菅総理退陣せよ！！

■原発の究極リスク

「ストレステスト」で原発の安全性を確認するとかいう動きがありますが

本当のリスクはテロです。

なぜ今までテロの対象にならなかったのでしょうか？

http://uenorio.blogspot.com/2011/07/blog-post_4917.html

私は、日本の産業の競争力の維持という目的から、
早期の原発廃止に反対です。

ところが、ある研究会でハッと気がつかされたことがあります。

これまでは、何か事故等があっても冷温停止ができるように
万全の態勢があれば問題ない、
それをどうやって実現すればよいか
に関心を集中させていました。

予備電源を十分確保する。
冷却用の水が確保できる対策をとる。
万一冷却がうまくいかないときの対策を準備しておく。

というようなことが中心でした。

それではすまないリスクもあるようです。
直下型大地震等で
制御棒と燃料棒の位置がずれると、
制御棒が燃料棒に挿入されなくなり
核分裂反応を止められなくなる可能性がある
というものです。

ただしこれは
地震感知システムで最初の地震波をキャッチした時点で
停止機能を動かせば何とかなるようです。

ところが、
どうにも対応できない致命的なリスクがあるのです。
何だと思われませんか？

テロです。
9. 11はビルを狙い、3千人の犠牲者が出ました。

多くの原発は
対空防御をしていませんから、
個人用の飛行機でも突っ込むことは容易でしょう。

そうすれば、原爆状態となるのではないのでしょうか。
これは怖いですね。

なぜ今までテロは原発を狙わなかったのでしょうか？
理由は分かりませんが、
今回の福島原発事故で
テロ組織が原発をターゲットにする可能性はあります。

テロへの万全な対策は取りようがないでしょう。
どうするのでしょうか。

今まで話題になっていないのは、
あまりにも恐ろしすぎて誰も取り上げていないからでしょうか。

このテーマについての検討が必要なようです。

■低放射線量の有益性について 再々論

このテーマは早く決着をつけて
無駄な「防衛」措置をやめてほしいものです。

http://uenorio.blogspot.com/2011/07/blog-post_31.html

私のこの論のきっかけを提供してくださった
茂木弘道さんから、以下のメールが届きました。
そのまま掲載させていただきます。

この本は私も未入手ですが、
このテーマにご関心のある方は
ぜひご研究ください。

上野則男 様

これまでにラッキー博士の論文3点を日本語訳して皆様にご案内して参りました。

その3点の論文

「電離放射線の生物学的効果—日本に贈る一視点」
「原爆の健康への効用」
「放射線廃棄物による健康増進」

を元にした本を掲記のタイトルで、このほど出版しました。

ラッキー論文は学術論文で、読みにくい方も多いかと思います。各論文の前に解説を付けました。これをお読みいただければほぼ内容が分かるようになっております。

『放射能絶対悪論』と言う現代の「迷信」が横行し、被災地の人々を苦しめ、全く無駄な対策を膨大な経費をかけて行い、さらには国の今後の政策を架空の前提に基づいて決めかねない事態となっております。

こうした問題に対する反論を、ラッキー論文に依拠しつつ第2章で展開致しました。

是非とも皆さまをはじめとする日本全国の心ある方々に読んで頂き、「どうもおかしい」ということに気づいていただければと思っております。

8月1日から店頭に並ぶ予定です。見当たらない場合には、是非お店にご注文ください。また、添付の申込用紙で出版社（日新報道）にFaxで直接申し込むこともできます。定価で購入できます。

「日下公人先生ご推薦文」

ラッキー博士はこの本で、1年に100ミリシーベルトくらいの放射線はかえって健康に良いと主張される。自然界に存在する放射線は人体にはむしろ不足で、そのため人はガンや糖尿病になるとの説も紹介されている。

私はアッと驚いたがかなりの程度納得した。ラドン温泉などの実際と、長崎などのデータとホルミシス理論の3本建てで書かれているからである。

本書は原爆反対の感情から生まれた放射線恐怖の行き過ぎを正している。

生命に関する科学は日進月歩しているから、市民運動家が奉ずる古い科学は穴だらけらしいと分かった。

日下公人

目次

まえがき	茂木
第1章 電離放射線の生物学的効果 解説と全文訳	
第2章 福島放射線問題と低放射線有益論への出会い	茂木

第3章 原爆の健康への効用
解説と全文訳

第4章 放射線廃棄物による健康増進
解説と全文訳

あとがき

茂木

平成23年7月27日

茂木弘道拝

ご参考までに、以下に日経新聞7月26日の記事をご紹介します。

「被曝限度『生涯100ミリシーベルト』
食品安全委 暫定規制値見直しも」
という見出しで、内閣府の食品安全委員会は、
「通常の一般生活で受ける放射線量を除き、
生涯の累積線量が100ミリシーベルト以上で
影響が見出される」とする評価書を了承した。

この基準だと現在の暫定規制値は
年間の放射線量を基準としており、
生涯に対する規制値となると
現在の暫定規制値よりも厳しい基準である。

ただ、この評価書を作成した作業部会座長の
山添康東北大(薬学)教授は
「現在の規制値はかなり厳しい。
現在の規制値を極端に変更する必要はないのではないか」
という見解を示した。

また、作業部会が根拠とした論文は、
広島や長崎の原爆で瞬間的に100ミリシーベルトの
放射線量を浴びた場合にがんになるリスクが高まるという
データに基づいている。

作業部会では、
「瞬間的に浴びた放射線量の基準を、
低い線量の放射線を長期間浴びた場合の基準にするのは
おかしいのではないか」という意見も出た。」

ということで、作業部会メンバでも
「放射線がいかなる場合にも有害である」という説に
異論を唱える方がおられるということです。

また、日経新聞の編集部も
この問題に関して関心がある(一方的ではない)
ということも分かります。

早く正しい結論に到達してほしいのですが、
保守的な日本文化の中では難しいのでしょうね。

■小さなクレーム

夏は暑くて少しのことでも腹が立ちやすいですね。
http://uenorio.blogspot.com/2011/07/blog-post_2686.html

先日7月28日、
仕事帰り21時半頃に都営地下鉄の泉岳寺駅で
こういうことがありました。

都営浅草線は泉岳寺の駅で、
品川方面に行く京浜急行線と
西馬込方面に行く都営線が分かります。

品川方面行に乗ってきて西馬込方面に行く人
(私もそうです)は、ここで乗り換えなければなりません。

泉岳寺駅発の西馬込行が停車していることが多いのです。
ところが、この時はホームでたくさんの人(200人くらい?)
が待っているのに10分位も電車がきません。

来るべき電車は泉岳寺駅折り返しで
近くで待機しているのです。

「少しでも早くホームに到着して、
ホームで立って待っている人に乗っていただく、
という気はないのか!
(別にダイヤより早く出発しろ、というのではありません)

運転手と車掌の二人の運行勤務時間を少なくするために
多くのお客様を待たせるのか!」

と、公営交通のお客様無視のお上体質に頭にきました。
今度、クレームしようと思っています。

■ソフトウェア保守の改善をしましょう!

今、私が必死で取り組んでいるテーマのご紹介です。

<http://uenorio.blogspot.com/2011/08/blog-post.html>

ソフトウェア保守のテーマにつきましては、
当ブログでも、
以下の2回取り上げさせていただきました。

2010年12月

「ソフトウェア保守のコスト半減」

2011年3月

「Sweeperってご存じ?」

その要旨は次のとおりです。

1. ソフトウェア保守の業務量は開発の3倍以上もあり
この業務が停滞すると、
ビジネスに重大な影響を与えます。
2. それにも拘わらず、
これまで多くの企業では
ほとんど本格的な改善は実施されていません。
3. そのため、この業務は旧態依然のままであり、
頻繁に問題を起こしていますし、
莫大に無駄なコストがかかっています。
4. そこで「保守業務の改善に取り組みましょう」と
当社グループは動き出しています。

ということでした。

そして、その一端で、
前掲のSweeper(保守業務の改善スペシャリスト)
を養成する研修を始めています。

その受講生を募集する過程で分かったことがあります。
それは以下の図のとおりです。

保守業務改善・改革のメリット

【システム利用者】

保守案件の納期短縮・・・はやくできる
コスト削減・・・安くなる
障害削減・・・迷惑が減る

【システム部門】

コスト削減・・・安くなる
管理責任遂行レベルの向上・・・経営から評価される

【受託者】

お客様からの信頼性向上
現ビジネスの維持
ビジネス競争力の向上

この意味は次のとおりです。

ソフトウェア保守の当事者は3者です。

まず、「システム利用者」です。
この人たちはソフトウェア保守の品質がよくなり
依頼したことが
すぐに、安くできれば非常に嬉しいのです。

ですが、保守業務の実施方法がどうなっているかは
分かりませんし関心もありません。
「しっかり頼むよ」というスタンスです。

次は、システム利用者の依頼を直接受け付ける
「システム部門」（または情報子会社）です。

現在、ほとんどのシステム部門は
自分では保守の実務は行わずに
受託者任せです。
「あなた任せ」でこちらも「しっかり頼むよ」のスタンスです。

「改善をしないのですか」と持ちかけると
「それは受託者の問題」と逃げてしまいます。

実務を担当している「受託者」はどうかというと、
「言われたことを忠実にこなす」というスタンスで
余計なことはする余裕がありません。

受託者が改善に取り組まない大きな理由は、
現在の保守業務の契約形態が、
改善をして得になるようになっていないからです。

ということで、
保守業務の改善につきましては
3すくみ状態でこう着したままなのです。

ですから、
前掲のSweepers養成研修の受講生集めは
大変苦労しました。

18社のシステム部門長や情報サービス業のトップに
会ってお誘いしました。
結果は7社にご参加いただいただけでした。

即断された責任者の方も少数おられましたが、
多くは「趣旨には賛成」だが、
ということで見送られました。

日本社会は大勢順応型ですから仕方ないのですが、
この意思決定スタイルでは、
日本のビジネスは勝てませんね。
なでしこジャパンは遠い夢です。

大勢順応型を動かすにはどうしたらよいのかと
考え出しています。

マスメディアが煽らないとダメですね。
マスメディアが動くには、
大きな改善成果が複数企業で出ているとか、
業界のオピニオンリーダが動き出すとか、
が必要でしょう。

複数企業で成果が出るにはまだ時間がかかります。
目下のところ、
動きそうなオピニオンリーダはいないようです。

そこで、どうしたものかと思案中なのです。

申し遅れましたが、
私たちが、保守業務の改善推進に必死なのは、
もちろん当社のビジネス発展のためですが、
こんな生産性の低い保守業務では、
日本のビジネスの足かせになる、と思うからです。

あらためて、当社グループが取り組んでいる
保守業務の改善について以下にご紹介します。
ぜひ、保守業務の改善活動にご参画ください。

1. 保守業務の革新研究トップセミナー
保守業務改善・改革の必要性・有効性を説く
「啓蒙」無料セミナーで、次回は9月14日（水）です。
<http://www.newspt.co.jp/data/semina/tops.html>
2. ソフトウェア改革の実践研究会
ソフトウェア保守業務に関わっている方々が一堂に会し、
抱えている問題や改善の取り組み方法について
お互いに意見を出し合う研究会です。
今年度分は9月15日（木）から始まります。
http://www.newspt.co.jp/data/slcm/hosyu_ken.html
3. 先ほど来、ご紹介しているSweeper養成研修
<http://www.newspt.co.jp/data/sweeper/sweeper.html>

すでに総論的なテーマの第3单元まで終了しています。
次回8月11日の第4单元から
具体的な改善手法の研修になりますので、
現在、追加募集中です。
ご関心ある方は、料金等を含めお問い合わせください。

日本のビジネスの発展のために、
皆様もぜひこれらの活動に力をお貸しくしませんか。

【弊社からのお知らせ 目次および開催日程】
<http://www.newspt.co.jp/data/schedule.html>

- ▼ 2011年度SLCM研究会（システム・ライフサイクル・マネジメント研究会）
～ソフトウェア保守業務改革の実践～・・・会員募集中
- ▼ 保守業務改革プロフェッショナル（Sweeper）
養成講座・・・6/29開講
- ▼ 保守業務の革新研究トップセミナー
～保守コストの半減を目指して～・・・9/14

▼ 2011年度SLCM研究会（システム・ライフサイクル・マネジメント研究会）

◆ソフトウェア保守業務改革の実践研究会（通称：保守研究会）

6月23日に事前検討会の位置付けでスタートいたしました。
本格的な研究会活動は9月15日からとなります。
現在、会員様を募集継続しております。
研究会内容の詳細は是非お問い合わせください。

今後の開催日程：2011年 9月15日、11月17日、2012年1月19日、3月15日
* 年間4回、いずれも木曜日の開催です。
各回とも13:30～18:30まで、その後情報交換会を実施します。

http://www.newspt.co.jp/data/slcm/hosyu_ken.html

対象者：ソフトウェア保守業務の改善・改革をミッションとしておられる方、
ご関心のある方など、是非ご参加ください。
これまでの研究会へのご参加は不問です。

参加費：お1人参加：189,000円
お2人参加：241,500円（いずれも税込）

▼ 保守業務改革プロフェッショナル（Sweeper）

養成講座・・・6/29開講しました

◆既に関講いたしました、第4單元からのご参加も可能です。
途中ご参加の場合はそれまでの講座について補講をさせていただきます。
原則隔週水曜日に9講座を実施し、その後3カ月あけて実践をしていただく
内容です。
第4單元からは保守におけるツール活用なども盛り込まれます。
途中ご参加の場合は参加費の割引もごさいます。
是非、詳細についてご説明に伺いますのでお気軽にお問い合わせください。

<http://www.newspt.co.jp/data/sweeper/sweeper.html>

▼ 保守業務の革新研究セミナー

～保守コストの半減を目指して～・・・9/14

◆9月14日（水）14:00～19:00

<http://www.newspt.co.jp/data/semina/tops.html>

対象者：情報システム・IT部門長殿、
およびそのご推薦の方で保守業務の改善にご関心のある方
参加費：無料

お申し込み・お問い合わせにつきましては本メールへの返信あるいは
弊社HPよりお願いいたします。

↓
<http://www.newspt.co.jp/data/schedule.html>

☆☆アドレス変更・送信停止等は本メールへの返信にてお願いします☆☆

システム企画研修株式会社
Tel：03-5695-3130、Fax：03-5695-3131
〒103-0001 中央区日本橋小伝馬町16-2 東事協ビル2F
mind-pc@newspt.co.jp

<http://www.newspt.co.jp>
